

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7 年 2 月 1 日

事業所名 たいようリズム

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|--|------------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 3 | | | ・十分なスペースを確保している。 ・学習に取り組む時間はついでなどをし、空間を作っている | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 3 | | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 2 | 1 | | ・活動するスペースはバリアフリー化されている。 | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 2 | 1 | | ・毎日全職員で話し合う時間を設けている。（職員が休んでいる日は次の日に情報の共有を行っている） | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 2 | 1 | | ・アンケートを実施し、全職員でアンケートの内容を確認し、保護者の意向にそえるよう今後も話し合いを設けていく。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 3 | | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | | 3 | | ・外部評価を検討していく。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 3 | | | ・必要な研修は受けるようにしている。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 3 | | | ・保護者や関係機関との連携を心掛け、アセスメントの際には保護者の声に耳を傾け、気持ちに寄り添っている。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | | 3 | | ・使用はしていないが、結果などは参考にさせて頂いている。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 3 | | | ・子どもの支援に関わる職員同士で毎月立案を行っている。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 3 | | | ・活動の内容や季節ごとにその都度子どもの達成具合に合わせて変更する場合がある。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 3 | | | ・土日祝はお休み ・プログラムが決まっている。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | | | 3 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 3 | | | ・毎日の朝の会で、情報共有を行い利用する児童について支援内容を話している。 | |

| | | | | | | | | |
|--------------|----|---|---|--|---|---|---|---|
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 3 | | | ・送迎に出て、その日のうちに話し合う時間が確保できないため、次の日の朝の会には必ず話し合うようにしている。 | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 3 | | | ・HUG(連絡アプリ)や支援経過を毎日記入し、日々の改善に繋げている。 | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 3 | | | ・半年に一度は、モニタリングを行っている。 ・必要に応じて、半年ではなく短い期間でのモニタリングも実施していく。 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | 1 | | 2 | | ・活動内容と活動時間が決まっているため、地域交流が難しい。長期休みの時に、交流をもてるようにしていきたい。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 3 | | | ・児発管が参加している。 ・今後は子どもの支援に関わる職員の参加も検討している。 | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 1 | | 2 | ・学校からの情報が少ない。 | ・事業所側から確認を定期的に行っていく。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | | | 3 | ・医療的ケアの子の受け入れをしていない。今後も予定をしていない。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | | | 3 | | ・今現在対象者がいないが、今後は情報共有につとめていく。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | | | 3 | ・該当なし | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | | | 3 | | ・今後様々な研修に皆が参加できるように努めていく。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | | | 3 | | ・ニーズがあれば検討する。 ・保護者の意見を聞いてみる。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 1 | | 2 | | | ・自立支援協議会の必要性を感じ今はzoomから参加している。(可能な限り参加できる職員は参加していく) |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 3 | | | | ・送迎時に直接話しているが、祖母宅の送迎の方については、HUGのアプリやLINEや電話などで直接やり取りを行っている。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | | | 3 | | ・半年に一度職員と保護者が話し合いをする機会を設ける予定である。 |

| | | | | | | | | |
|------------|---------------------------|--|---|---|---|---|--------------------------------------|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 3 | | | ・児発管が丁寧に説明している。 | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 3 | | | ・面談以外にも相談があった場合には、じっくり話を聞き、一緒に改善方法を考えている。 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | | 3 | | ・半年に一度、検討中。 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 3 | | | | ・苦情を受け付けるための窓口を配置し、迅速に対応している。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 3 | | | | ・毎日インスタを更新して日々の活動の様子を発信している。 | ・今後茶話会など行事なども発信していく予定。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 3 | | | | ・個人情報など大事な資料は鍵付きのキャビネットに保管している。 | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 3 | | | | ・HUGやLINEで情報のツールの活用を行い配慮している。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | | 3 | | | ・今後、夏祭りなどの行事を検討中。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | | | 3 | | ・マニュアルはあるが訓練は実施していない。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 2 | 1 | | ・定期的に各災害による訓練は行っている。反省を生かし、振り返り、次への訓練に備えている。 | ・常時、避難場所の確認、職員の役割を定期的に把握し、情報を共有していく。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 3 | | | | ・研修などに参加している。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | | | 3 | | ・現在、拘束を必要とする対象者はいない。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | | 3 | | | ・今は利用している児童の中にアレルギーはいないが、職員の目の届くところにアレルギー記載を提示して周知していく。 |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 3 | | | | ・ヒヤリハット発生時には、その日のうちに職員間で共有している。また再発防止に向けた、話し合いを行っている。 | | |